

INTERNATIONAL SYMPOSIUM  
国際シンポジウム気候変動下における山岳の  
生物多様性と持続可能性Mountains: Biodiversity and  
sustainability under climate change

## プログラム ※全講演英語で行います

10:30 ——— 開会・趣旨説明：津田吉晃（筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所准教授）  
 10:35～10:45 — 開会挨拶：石田健一郎（筑波大学山岳科学センター長・教授）

## 基調講演

10:45  
～11:30 「ヒマラヤ：生物多様性、気候変動そして社会」  
**カマル・バワ博士**  
 マサチューセッツ州立大学ボストン校特別教授  
 インド・アショーク生態学環境研究トラスト研究所代表

11:30  
～12:15 「山岳そしてその向こうにある生物多様性の重要性」  
**アリソン・ペリゴ博士**  
 スウェーデン・ヨーテボリグローバル生物多様性センター  
 ヨーテボリ大学生物環境科学部門プロジェクト・コーディネーター

12:15～13:15 — 休憩

13:15  
～14:00 「気候変動対策における測定／報告／  
検証（MRV）制度の重要性」  
**鈴木健次郎氏**  
 国連気候変動枠組条約（UNFCCC）持続可能開発メカニズム（SDM）  
 プログラムオフィサー

## 一般講演

14:00  
～14:25 「中緯度モンスーン気候を反映した永久凍土分布  
～富士山と北海道にあるギャップとその将来～」  
**池田敦** 筑波大学山岳科学センター准教授

14:25  
～14:50 「シロアリ共生系の生態系機能の解明による  
木質バイオマスの利活用」  
**守屋繁春** 理化学研究所守屋バイオスフェア科学創成研究ユニットリーダー

14:50～15:20 — 休憩

15:20  
～15:45 「日本列島の高山植物における更新世を生き延びた歴史」  
**池田啓** 岡山大学資源植物科学研究所准教授

15:45  
～16:10 「保護区による生物多様性保全：現状と課題、展望」  
**赤坂宗光** 東京農工大学農学研究院自然環境保全学専攻准教授

16:10  
～16:35 「気候変動下における自然保護区での生態系への影響と適応策」  
**大澤隆文** 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室室長補佐

16:35  
～17:00 「これからの山岳科学：学際的研究がもたらすもの」  
**津田吉晃** 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所准教授

17:00～17:25 — 総合討論

17:25～17:30 — 閉会挨拶：津村義彦（筑波大学山岳科学学位プログラム長・教授）

オーガナイザー 津田吉晃（筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所准教授）  
 津村義彦（筑波大学山岳科学センター教授）

主催：  筑波大学山岳科学センター

日時：2018.11/15(木) 10:30～17:30

場所：つくば国際会議場中ホール 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

事前登録不要  
参加無料問い合わせ先 tel.0268-74-2002  tsuda.yoshiaki.ge@u.tsukuba.ac.jp

(津田吉晃) 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 〒386-2204 長野県上田市菅平高原1278-294

